

万博公園探鳥会

2024年1月13日(土)
リーダー 田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美
有賀憲介・平軍二(090-6901-1425)

I 千里の鳥・万博の鳥「トモエガモ」

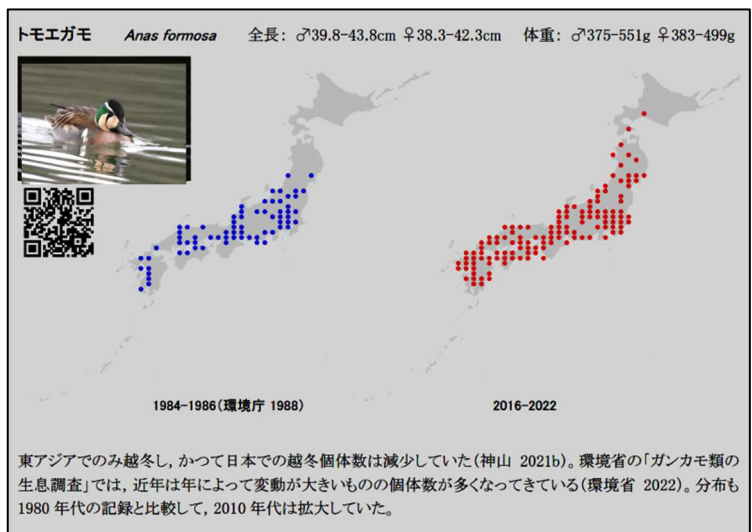
↓ 橋本昌宗



今回は1月万博公園探鳥会で観察したトモエガモを紹介する。トモエガモはロシア東部に繁殖地があり、冬になると日本や中国南部で越冬するカモ。毎年1月に実施しているガンカモ調査では、大阪府内400カ所を超える池や河川で調査しているが、トモエガモのカウント数が2022年1月38羽、2023年1月55羽と、カモの中では越冬数の少ない種である。トモエガモは体長40cmとコガモほどの小型のカモ、名前の由来は雄の顔の模様が複雑で、「巴模様」に見えることによる。

トモエガモは園内の2カ所で観察したが、探鳥会初記録であった。オシドリと同様あまり人慣れしない種のため、池の隅っこで人目につきにくい所に隠れているようにしていた。人気の鳥であるが、越冬数が少なく、しかも見通しの良い池にいないことから、観察することが少ないカモ2種、トモエガモ・オシドリが同時に観察でき、笑顔で終えることができた。

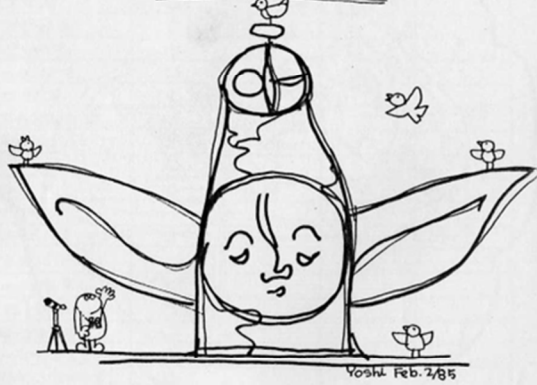
全国鳥類越冬分布調査報告 →
2016～2022年 トモエガモ
(バードリサーチ・日本野鳥の会)



II 万国博記念公園探鳥会

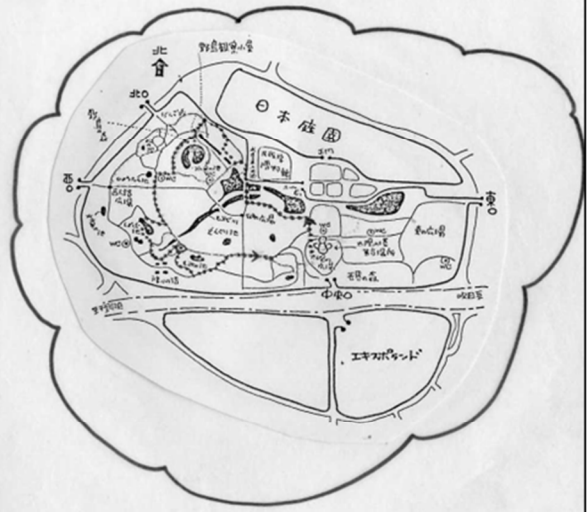
1985・2・16 (土) (第1回)

日本野鳥の会大阪支部



1970年開催された日本万博の跡地に造られた公園です。10数年たって、樹木も繁り、四季の花が咲き、素晴らしい公園になりました。今日は、万博の10周年記念事業のひとつとして1980年に造られた、自然文化園内の野鳥の森を中心にバードウォッチングを楽しみます。

午後、時間があれば日本庭園にも行ってみたいと思います。
では、出発……



1985年2月16日、第1回目の探鳥会を開催した万博公園探鳥会、イラスト入り資料は中野義弘氏に作成していただきました。万博探鳥会は今年、40年目に入ります。

III 先月2024年1月万博探鳥会結果

トピックスは前述の通り万博探鳥会初記録のトモエガモ。

更に、水すましの池の狭い草むらには、4年連続で越冬しているタシギ、先月・先々月は終了後に大矢氏により確認されていたが、今月は探鳥会で2羽もいることがわかり、1羽は見やすい所に出てきてくれたため、全員でゆっくり観察できた。

曇り空で寒く、小雨も降り一時雨宿り余儀なくされたが、ツグミが園内一円にいてカウント数が136羽、アトリ (18羽)・シメ (8羽)・ジョウビタキ (7羽) など冬の小鳥や、ハイタカ・オオタカ・ミサゴなどタカの仲間も観察できた。



←左 タシギ
上中 コゲラ ↑
上右 ジョウビタキ ↑
右 キンクロハジロ →
(橋本昌宗)

IV 万博公園の森の変遷（万博公園事務所提供）

1981 年



1992 年

